

平成 1 8 年 7 月 2 5 日開会

平成 1 8 年 7 月 2 5 日閉会

平成 1 8 年 7 月

第 2 回 臨時 会 会 議 録

小 豆 島 町 議 会

# 平成 1 8 年 第 2 回 小豆島町議会臨時会会議録

---

小豆島町告示第 1 3 0 号

平成 1 8 年 第 2 回 小豆島町議会臨時会を次のとおり招集する。

平成 1 8 年 7 月 2 1 日

小豆島町長 坂 下 一 朗

記

- 1 . 期 日 平成 1 8 年 7 月 2 5 日 ( 火 )
- 2 . 場 所 小豆島町役場 議場
- 3 . 付議事件 ( 1 ) 内海中学校スクールバス購入事業に係る物品購入契約について

---

開 会 平成 1 8 年 7 月 2 5 日 ( 火曜日 ) 午前 9 時 3 0 分

閉 会 平成 1 8 年 7 月 2 5 日 ( 火曜日 ) 午前 1 0 時 6 分

## 出席、欠席（応招、不応招）議員名

出席

欠席 ×

議席 番号	氏 名	7月25日		
1	秋 長 正 幸			
2	藤 本 傳 夫			
3	森 口 久 士			
4	森 崇			
5	谷 清			
6	新 名 教 男			
7	安 井 信 之			
8	井 上 喜代文			
9	山 中 彰			
10	植 松 勝太郎			
11	渡 辺 慧			
12	新 茶 善 昭			
13	藤 井 源 詞			
14	村 上 久 美	×		
15	鍋 谷 真由美			
16	中 江 正			
17	浜 口 勇			
18	中 村 勝 利			

地方自治法第121条の規定による出席者

職 名	氏 名	第1日		
町 長	坂 下 一 朗			
副 町 長	吉 岡 忠 昭			
教 育 長	明 田 隆 雄			
総 務 課 長	竹 内 章 介			
企 画 財 政 課 長	石 田 良 行			
内 海 統 括 室 長	八 代 豊			
税 務 課 長	三 木 忠 臣			
住 民 福 祉 課 長	秋 長 邦 広			
健 康 増 進 課 長	谷 本 広 志			
環 境 衛 生 課 長	石 井 富 男			
商 工 観 光 課 長	真 渡 健			
農 林 水 産 課 長	岡 本 安 司			
建 設 課 長	池 上 恵			
人 権 対 策 課 長	宗 保 孝 治			
池田総合窓口センター所長	平 間 繁 夫			
学 校 教 育 課 長	中 桐 久 志			
社 会 教 育 課 長	岡 野 俊 昭			
水 道 課 長	堀 田 俊 二			
介護老人保健施設事務長	岡 田 弘 彦			
病 院 事 務 長	松 下 智			
出 納 室 主 幹	高 橋 龍 司			

職務のため出席した者の氏名

議会事務局長 山 本 芳 嗣

議事日程

別 紙 の と お り

平成18年第2回小豆島町議会臨時会議事日程（第1号）

平成18年7月25日（火）午前9時30分開議

- 第1 会議録署名議員の指名について
- 第2 会期の決定について
- 第3 議案第37号 . 内海中学校スクールバス購入事業に係る物品購入契約について  
(町長提出)

開会 午前9時30分

議長（中村勝利君） おはようございます。

今日は、何かとご多忙のところご参集くださりましてありがとうございます。

今期臨時会の議事日程等につきましては、先ほど開催しました議会運営委員会においてお手元に配付のとおり決定しましたので、皆様のご協力をお願いします。

開会に先立ちまして、町長から今期臨時会招集のごあいさつがあります。

町長。

町長（坂下一朗君） 本日、小豆島町議会7月臨時会が開催されるに当たりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

議員の皆様には、何かとご多用の中をご出席を賜り、まことにありがとうございます。今年梅雨前線が活発でうっとうしい天気が続いておりますが、各地で大雨による災害も発生し、過去に大きな災害を経験している私たちにとりましては人ごとではないという思いでございます。常日ごろ備えを十分におこななければならないという思いを一層強くいたしておる次第でございます。

本臨時会では、緊急に議会の議決をいただかなければならない財産の取得案件が発生いたしましたので、ご審議をお願いすることとなっております。議案の内容につきましては後ほど説明をさせていただきますが、十分ご審議いただきご議決賜りますようお願い申し上げます。

以上、簡単でございますが、今期臨時会に当たりましてのごあいさつといたします。

議長（中村勝利君） 本日の欠席届け出議員は14番村上議員、1名です。

ただいまの出席議員は17名で、定足数に達しておりますので、本日の第2回臨時会は成立しました。

これより開会します。（午前9時32分）

直ちに本日の会議を開きます。

これより日程に入ります。

日程は、お手元に配付のとおりです。

~~~~~

#### 日程第1 会議録署名議員の指名について

議長（中村勝利君） 日程第1、会議録署名議員の指名についてであります。会議規則第118条の規定により、5番谷清議員、6番新名教男議員を指名しますので、よろし

くお願いします。

~~~~~

日程第2 会期の決定について

議長（中村勝利君） 次、日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。

今期臨時会の会期は、本日1日にしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（中村勝利君） ご異議なしと認めます。よって、今期臨時会は本日1日と決定しました。

~~~~~

日程第3 議案第37号 内海中学校スクールバス購入事業に係る物品購入契約について

議長（中村勝利君） 次、日程第3、議案第37号内海中学校スクールバス購入事業に係る物品購入契約についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

町長。

町長（坂下一朗君） 議案第37号内海中学校スクールバス購入事業に係る物品購入契約について提案理由のご説明を申し上げます。

現在の内海中学校スクールバスは、整備後十数年が経過し老朽化しているため新規に購入いたしたく、契約の締結について地方自治法第96条第1項第8号の規定により議会の議決を求めるものであります。

内容につきましては担当課長から説明をさせますので、よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

議長（中村勝利君） 学校教育課長。

学校教育課長（中桐久志君） 議案第37号内海中学校スクールバス購入事業に係る物品購入契約についてのご説明を申し上げます。

現在運行の車両につきましては、平成2年9月に整備したものでございます。整備後16年を経過しておりまして、走行距離も27万キロを超えております。このため、車両自体の傷みも目立ってまいりましたし、次第に修繕料がかさんでまいっております。このような状況から、登下校時の生徒の安全確保の観点から更新を行おうとするものでござい

す。

更新する車両につきましては、生徒数が少なくなっておりますけれども、中学校の行事を初め幼稚園、小学校の行事等、中学校の生徒の通学以外での利用を考慮いたしまして、現在の車両と同様、座席数49席の大型車両を整備することといたしました。

契約の方法につきましては指名競争入札によることとし、先日ですけれども7月21日に入札を行いました。指名業者につきましては小豆島町内の15業者といたしましたが、入札に参加がありましたのはそのうちの5業者でございます。契約金額でございますけれども、1,393万3,500円で、小豆郡小豆島町安田甲144番地144、株式会社星城モーターズ代表取締役増田博が落札をいたしてございます。納車の期日につきましては、議会の承認をいただいた後、町が指定する日から平成18年10月31日までとしております。

以上、簡単ですけれども説明を終わります。よろしくご審議のほどをお願いいたします。

議長（中村勝利君） これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

16番中江議員。

16番（中江 正君） スクールバスのバス自体の燃費と申しますか、十五、六年が、小豆島バスなんかでも15年から、約30万キロが妥当だと思うんですけど。購入のメーカー、大手で言いますと日野、ふそう、いすゞとありますが、その中で恐らく日野だと思うんです。三菱系統は昨年もいろいろと話題になりました。欠陥車が生まれたということで、安全性からちょっと欠けているという部分があるんで、安全性を不可欠にしたいと思うんで、どこのどのようなメーカーか。

また、内装ですけど、窓枠。窓枠はあくのかあかないのか、スケルトン方式でシャットアウトされているのか。

それと、トヨタ系のクーラー、三菱系は騒音ばかりで余りきかないという欠点があります。そういうなんで、できればその間を説明していただきたいと思います。

以上です。

議長（中村勝利君） 学校教育課長。

学校教育課長（中桐久志君） ただいま中江議員さんから三菱のバスについては欠陥があるというふうなご指摘がございましたけれども、購入しますのは三菱ふそうの車両でござ



ざいます。

窓の状況ですけれども、今カタログを持ってきておるんですけれども、これを見た感じで申し上げますと、あくような感じには見えるんですけど、ちょっとこれ見ていただいたら。

( 16 番中江 正君「はあはあ、あくようになっとんですね。はいはい」と呼ぶ)

はい。いいですか。

( 16 番中江 正君「はい」と呼ぶ)

議長(中村勝利君) 16 番中江議員。

16 番(中江 正君) 価格が問題じゃないと思うんです。安全性に欠けてるようなメーカー。話題になりました、昨年。そういうなんで、輸送体制で不備があっては非常にままならんということで、購入時点でいろんなメーカーの方々と商談をされていたらどうかと思います。小豆島バスなんかは、三菱系はもう今1台です。それに、非常に乗りにくいという部分が今ドライバーの中から出ているわけです。三菱さんもそういう問題がありまして、非常に今後十分に精査されていると思うんですけど、できれば私は日野系が妥当じゃないかなと、こう思っているわけですけど。そのあたりどうでしょうかね。

議長(中村勝利君) 学校教育課長。

学校教育課長(中桐久志君) 入札が終わった段階でメーカーを変えるというのはもう不可能かと思います。購入に際しましては、中江議員さんのご指摘のありましたような欠陥についての話し合いといたしますか、その辺の申し入れを十分にいたしまして万全を期していきたいというふうに考えております。ご理解いただきたいと思います。

議長(中村勝利君) よろしいでしょうか。

( 16 番中江 正君「はい」と呼ぶ)

ほかに質疑はありませんか。

4 番森議員。

4 番(森 崇君) ドアはオートだと思うんですけど、ドアインターロックといってドアが閉まらなるとアクセルがふかないという、安全性なんですけど。昔のバスなんかは、ドアはあけ閉めするけどアクセルをふかしたら出るってということで、ドアがあいたらお客さんが落ちくれたっていうのは高松の方であったわけで、ドアインターロックになっているかどうか。

本来であれば、僕はそういうコピーをせめて全部に渡しとったらどうかなと思うんですけども、後でも結構です。ドアインターロックの件だけお願いします。

議長（中村勝利君） 学校教育課長。

学校教育課長（中桐久志君） そしたら、コピーにつきましては大至急コピーをしてお配りしたいと思います。

ドアですけれども、当然そのようなシステムになってございます。

議長（中村勝利君） 森議員、よろしいですか。

（4番森 崇君「もう一つ、はい」と呼ぶ）

4番森議員。

4番（森 崇君） 先ほど中江議員さんが窓のことを聞かれましたけど、高速走するためにスケルトンという骨組みの上にすぽんとバスを載せてしまうんですね。ですから、窓は一切あかない、年じゅうクーラーか暖房かどっちか入れる、非常に不経済なんですけど、それが一時期は主流を占めとったんです。ところが、もしもの場合、転落した場合に窓から逃げられないんですね。ドアからと後ろの非常ドアから当然逃げられますけど。もう10年以上、もっと前ですけど、学生を積んだバスが川に転落して、小豆島の方も子供さんが乗とったんですけど、思わず窓から、窓があいて逃げたということがあります。ですから、窓を全部スケルトン式にすぽんと閉めてしまうと何かあったとき困るということでもありますんで、その辺は思うんじゃなくて調べとってもらうたらと思うんですけど、はい。

議長（中村勝利君） 学校教育課長。

学校教育課長（中桐久志君） 調べます。

議長（中村勝利君） 16番中江議員。

16番（中江 正君） 今窓枠を言われたんですけど、三菱ふそというのはMGブレーキ、プッシュブレーキありますか、それがトヨタ系は特許でつけとんです。もしもブレーキがきかなくなれば、そのMGブレーキを押すと10メートルぐらい走ってシャットアウトしてとまるという機能を持つとんです。そういうなんで、非常に上り下りが急なところではMGブレーキを日野さんはつけとんです。三菱はつけてないということを聞いとんですけど、そのあたりはどうか、特別つけられたら。排気ブレーキは全車ついとんですけど、MGブレーキいうんは島バスの方もついてないんです、三菱。そういうなんで、そこまでちょっと調べてないですかね。

議長（中村勝利君） 学校教育課長。

学校教育課長（中桐久志君） ほかのメーカーの部品といいますか、そういうなものが取りつけられるかどうかというのもちょっと私方もよくわからないんですけども、可能であればより安全なものにしたいという思いはあるんですけども、そこら辺がちょっと問題かなというふうな感じがいたしますけど。

（ 16 番中江 正君「以上です」と呼ぶ）

議長（中村勝利君） ほかに質疑はありませんか。

7 番安井議員。

7 番（安井信之君） 予算額に対して74%、73.4%ぐらいなんですけど、いろんな入札の中で今まで後のランニングコストを考えた場合、そっちの方で利益が上がるわということで、コンピューターなんかやったら1円入札とかそういうふうなことがあります。

今回この入札した業者が後のランニングというか車検等でそこがやるというような形になっていくとそういうふうなおそれがあると思うんですけど、これは教育委員会のあれじゃないんかもわかりませんが、車検の場合は、後は入札で車検をするというふうなお考えはありますか。

議長（中村勝利君） 学校教育課長。

学校教育課長（中桐久志君） 恐らく納入業者の車検に、従来ですとそういうな格好になってございますので、今のところでは入札をしての車検ということは考えてございません。

以上です。

議長（中村勝利君） 7 番安井議員。

7 番（安井信之君） いろんな不明朗というか、そういうふうなんを考えますと、入札制度をとっていくというふうな、車検に対しても入札制度をとっていくということが公費の節減になってきたりというふうな分にもなってくると思うんですけど、そういうふうなお考えというんは、教育委員会じゃなくて企画財政とか総務の担当の話になってくるんかなと思うんですけど、そういうふうなお考えは教育課長からないと言われても、町の行政のものの方としてはどういうふうな考えがありますか。

議長（中村勝利君） 総務課長。

総務課長（竹内章介君） ただいまの安井議員のご質問でございますが、私自身が運転

免許を持っておりませんので詳しくございませんが、車検の場合、開いてみるとわからんような部分があるかと思うんです。車検そのものを入札に付すときの仕様であるとか、その辺が非常に難しいんじゃないかなというふうには感じております。従来、納入したところへ車検に出す、逆に言えば車検できるところが応札してくるというようなスタイルになっておったのが現状です。

以上です。

議長（中村勝利君） 7番安井議員。

7番（安井信之君） 車検業者いうんは、どんな車種でもいけるということで公役のところから認められて車検業者というふうになつとると思うんですけど、それが卸したところがせんといかんいうふうな、じゃないとメンテナンス等が見られんというふうなことはないと思います。その辺、検討願いたいと思いますが。

議長（中村勝利君） 総務課長。

総務課長（竹内章介君） 本町、指名委員会という制度がございますので、そこで皆さんと協議をしてみますが、そうしますというような前向きなご返事はここではようませんでご容赦願いたいんですが、検討はさせていただきます。失礼します。

議長（中村勝利君） ほかに質疑はありませんか。

4番森議員。

4番（森 崇君） 今の車検の件なんですけど、島バスがこの整備工場を持つとって人を30人ぐらい抱えとったときから安全モーターズに、安上がりのために、安全モーターズに持っていったことがあるんで、今はそうなつとんですけど。ところが、この安全モーターズの労働者の方たちは大きなバスをさわってなかったという経験しかなかったもんですから、ブレーキライニングを反対につけてしまったとか。やっぱり大きな車は大きな車の直し方とかノウハウっていうのは随分違うんだらうと思いますね、経験が。タイヤもでっかいしね。

それとか、例えば安上がりのことをしますと、日野なら日野が組み立てるときに下請に出したところがシャーシーに対してボディが斜めについとったと。そんなことあり得んやろう言うたんですけど、運転手さんがバックミラーを見るとどんなしても斜めになつとるこのバスは言うんで、調べてみると載せるときに何ミリか斜めにセットしてしまう、上へ載すんがね。そういうことありますんで、業者が決まればそういう能力のあるところに持って行って、できるだけ安くということになっていくんだらうと思うんですけども。です

から、どこが大型車両のそういうちゃんとした整備点検能力を持ってるかということがポイントになるだろうと思うんです。うちにやらせてくれえ言うて、安うて何とかやる言うても難しい問題もあります。その辺のとは今総務課長の答弁があったように、いろいろ検討してより安全なバスという、特にどれの命も一緒ですけど子供さんを乗すいうことで。

あと、運転手さんの健康の管理とか子供たちの静かにしとけよというんか、僕らも経験ですけど、行きしなおとなしゅう乗っとなですけど、帰りになったら非常ににぎやかになって歩き歩くとかいうのも結構あったんですけど。そんなことも全体的には気をつけていただきたいというふうに思います。

以上です。

議長（中村勝利君） 10番植松議員。

10番（植松勝太郎君） これスクールバスが16年ぶりに更新するという事なんですけど、1,400万円の金額に対してどのぐらいの補助率というんですか、補助金いうんかな。考えようによってはそういうふうな1,400万円に対する何ぼかいう部分と、考えようによってはスクールバスだけしか使えんというふうな枠を撤廃して、朝と夕方だけ走るんじゃなしに昼間も走れるというふうな考え方をしていけば16年もの長い間使う必要もないと。もっと仮に言うたら、時代に応じたいいい形でバスが購入できるんやないかというふうに思いますが、いかがですか。

議長（中村勝利君） 学校教育課長。

学校教育課長（中桐久志君） 補助率のお尋ねですけども、率は2分の1でございますけれども、文科省の補助制度は限度額というのがございまして、今回予算書に載っておりますのは補助金は304万円ですから、その倍が限度額ということです。段階があるんですけども、今回限度額が一番高いやつで2分の1ということで304万円ということです。

植松議員さん言われるように、補助金をもらえば当然その縛りというものがございまして。ただ、購入に際しましては補助金だけではなくて、今回辺地債ということで、後の更正の措置のある辺地債という有利な起債をそこに当てようとしておるんですけども、国庫の補助残でなければそういう起債が適用されないということがございます。ですから、植松議員さん言われるように、町費で買え、そしたらどんな好きなように使えるがということも言えるんですけども、その一時負担が全額1,400万円、全額税金の負担になる

ということがございます。ですから、その辺の判断の方は私方ではちょっと、教育委員会の方ではちょっと難しいところがございます。

以上です。

議長（中村勝利君） 10番植松議員。

10番（植松勝太郎君） 今のような返事ですから、今町の執行部としては何かいい方法言うたらいけません、もっとバスをスクールバス、朝の晩という限定するんじゃなしに使える方法はどうなんだと。そして、さっきも言いましたように一つのバスを16年間も使う。これ車検、あれは毎年するんやろね、毎年やな。そういうことも考えたりしたら、福田から内海の中へ入ってくる非常にその坂道、急坂、それからカーブの多いところで16年間も使うということ自体が僕はちょっと異常やないかなというふうに思っていますので、これ車を早く更新できるという部分も含めて、朝晩しかもう使えんというような考え方でなしに昼も使えるというふうなことを考えていったらどうかと提案をしたいと思えます、これはね。従来の部分にのっかってやるという形でなしに、じゃあ今の時代に合うた考え方というのをぜひ考えてほしいと。しつこいようですが、そういうふうに思います。望みます。

議長（中村勝利君） 答弁、よろしいですか。要ります。

（10番植松勝太郎君「いや、できるのであればしていただければ」と呼ぶ）

町長。

町長（坂下一朗君） 今の行政の中で、縦割り行政というなことで今までずっとやってきております。したがって、こういうな問題につきまして、例えば福祉の年寄りの病院へ通うのにも乗せたらええやないかと、いろいろなことが考えられるわけですが、これは他の私企業の問題ともいろいろありますので、一概によろしいとは言われませんが。

これからは、そういう各縦割り行政の枠を外した物の考え方で柔軟にやっていかなんだら行政はやっていけんという方向へ来つつあると思います。そういう点で、我々もそこで悩みながらそれを何か乗り越えていかにゃかんというのがこれからの大きな課題だと思っておりますので、そのご意見を承っておきます。

議長（中村勝利君） ほかに質疑はありませんか。

3番森口議員。

3番（森口久士君） 確認ですが、このスクールバス入札に関して同じ仕様ということ

でやっておられると思うんですが、これは聞くところによりますと、スクールバスに使うようなバスについてはそういう仕様のバスがあるということで、予算に対して安くなっているんですが、74%という金額。先ほど安井さんから出ましたけども、安ければいいというんじゃなくて、例えばエンジンの馬力数ですね、これが同じもんか、あるいは内装はほとんど変わらないもんか、座席のシートですね。こういうなんはどうなっておるのか確認したい。

それから、入札業者、5業者と言われましたが、この5業者の名前をお聞かせ願いたいと。

議長（中村勝利君） 学校教育課長。

学校教育課長（中桐久志君） 3番議員さんのご質問ですけれども、まず予算額と落札金額の開きがあるじゃないかというお話ですけれども、予算措置額につきましては、1つのメーカーですけれども問い合わせをいたしましてというんか見積書の提出を願いました、定価で予算は措置をしてございます。今回の1,400万円足らずの落札金額ですけれども、それは入札によります自由競争の結果というふうに私方は考えてございます。

それからもう一点は、業者ですか。入札に参加しました5業者ですけれども、星城モータースさん、それから小豆島マツダさん、平木モータースさん、池田モータースさん、坂出モータースさん、以上5業者でございます。

指名はすべて町内のモータース屋さん全部ですけど、要りますか。

（3番森口久士君「いや」と呼ぶ）

議長（中村勝利君） 3番森口議員。

3番（森口久士君） 私がお聞きしたのは、先ほどの入札に関しての価格が下がるという、それはいいんですけど。結局先ほど言ったように、同じようにメーカーによって馬力数が同じになっとるんか。それから中、内装ですね。座席は例えばビニールシートになっておるのか、それともクッションのいいといいますか、そういうな差はどういうにあったのかなということなんです。

議長（中村勝利君） 学校教育課長。

学校教育課長（中桐久志君） 大変失礼しました。

入札の条件ですけれども、当然入札は同じ条件で入札案内をしてございます。ただ、内装についてのビニールシートであるとかクッションまでもは規定はしておりませんで、年式ですね、年式。それから、馬力数250馬力としてございます。それから、座席数は4

9シート程度で、内装までもは定めてはございません。

以上です。

議長（中村勝利君） ほかに質疑はありませんか。

4番森議員。

4番（森 崇君） 済いません、忘れっただけです。地球温暖化の関係で排ガス規制、島バスのバスは東京向いて行けんのですわ。行けんのです。兵庫県の方もそういうことの動きが強いですし、外へ出て行くことはないと思いますけどお聞きだけしときたいと思います。排ガス規制に、今の新車やから多分入っと思うんですけど。

議長（中村勝利君） 学校教育課長。

学校教育課長（中桐久志君） 大変申しわけないんですけども、排気ガスまでもはちょっと承知してないんですけども。またメーカーの方に聞いてみて、また返事をさせていただきます。

（4番森 崇君「だから、全国がされたら、また車がばあになるから。勝手にされたら」と呼ぶ）

議長（中村勝利君） それでは、ただいまコピーができとりますか。それでは、配りたいと思いますので。

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（中村勝利君） 質疑はないようですから、質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（中村勝利君） 討論なしと認めます。

討論を終わります。

これから採決します。

議案第37号は原案どおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（中村勝利君） ご異議なしと認めます。よって、議案第37号は原案どおり可決されました。

以上で今期臨時会の全日程を終了しましたので、会議を閉じます。



これをもちまして平成18年第2回小豆島町議会臨時会を閉会します。  
ご苦労さまでした。

閉会 午前10時06分

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成 年 月 日

小豆島町議会議長

小豆島町議会議員

小豆島町議会議員